
英国M&G社との長期的な戦略的パートナーシップ締結について

- **DLHDとM&G社は、長期的な戦略的パートナーシップを締結**
- **DLHDは、M&G社の株式約15%を取得する予定**
- **M&G社は、欧州におけるDLHDの優先的な資産運用パートナーとなる予定**
- **本パートナーシップにより、今後5年間で、両社にとっての新たなビジネス機会の創出（DLHDで少なくとも20億米ドル、M&G社で少なくとも60億米ドル）を見込む**

第一生命ホールディングス株式会社（代表取締役社長グループCEO：菊田 徹也、以下「DLHD」）と、M&G plc.（グループCEO：Andrea Rossi、ロンドン証券取引所上場（LSEG：MNG）、以下「M&G社」）は本日、生命保険分野および資産運用における長期的な戦略的パートナーシップ（以下「本パートナーシップ」）を締結しました。

DLHDはM&G社の生命保険事業および資産運用事業の特性と成長可能性を評価し、規制当局の承認を前提としてM&G社の発行済株式の約15%（以下「本持分」）の取得を予定しています。本取得により、両社は多様な戦略的取組みにおける長期的な価値創出機会を共同で捉える体制を整えます。本持分は市場での買付けを通じて取得される予定であり、M&G社の発行済株式数に変更は生じません。一定の条件が満たされた場合には、DLHDはM&G社株式を少なくとも15%保有している期間中、M&G社の取締役1名を指名する権利を有します。

世界的に著名なアクティブ運用会社かつアセットオーナーであるM&G社は、欧州におけるDLHDの優先的な資産運用パートナーとなります。本パートナーシップは、事業成長、販売チャネルの拡大および商品開発の機会に焦点を当て、DLHDおよびM&G社双方にとって多大な新規ビジネス機会の創出を目指します。

本パートナーシップは、資産運用サービスの提供による世界的な事業拡大を目指すM&G社の戦略に合致し、M&G社の欧州のプライベートマーケット事業の拡大を加速させるとともに、日本およびアジア全域における新たな収益源の確保へと道を開きます。M&G社は、本パートナーシップが長期的な新規事業の創出を一層推進し、調整後営業利益の成長実現に資するものと期待しています。

また、M&G社は、DLHDの投資ニーズおよびその顧客のニーズに対応するため、欧州におけるパブリックおよびプライベートマーケットへのアクセスを支援します。加えて、DLHDは、M&G社の優れた生命保険分野の専門性を高く評価しており、本パートナーシップの一環として、バルク年金買取（Bulk Purchase Annuity）事業に関する自社の専門性を強化するために、M&G社と緊密に連携していきます。

本パートナーシップの条件は以下のとおりです。

- M&G社が運用するファンドへ、今後5年間で少なくとも60億米ドルの新規ビジネス機会の創出を見込み、そのうち少なくとも30億米ドルは、M&G社が市場をリードする高アルファ戦略（パブリックおよびプライベート市場を含む）への投資となる予定です。
- 上記60億米ドルのうち半分は、DLHDグループ傘下企業からの運用委託を通じて実現する見込みで、残り半分は、DLHDによるM&G社商品の販売などによる機会から生まれる見込みです。
- 同様に、DLHDにおいても今後5年間で少なくとも20億米ドルの新規ビジネス機会の創出を見込み、これはDLHDグループ傘下企業が提供する資産運用商品へのM&G社からの投資や同商品の販売、あるいは両社で共同開発した保険商品の販売を通じて実現される予定です。
- DLHDは、M&G社の保険商品を日本およびアジア地域で販売することも検討しており、両社は新商品の共同開発にも取り組んでいく方針です。
- 両社は、欧州および日本における生命保険分野での協業も検討しています。
- さらに、両社はそれぞれの資産配分ニーズおよび成長戦略に沿って、新たな資産運用機能への共同投資の機会も追求していきます。

出資およびガバナンスについて

DLHD とM&G社は、本パートナーシップを通じた長期的な成長の実現に向けて取り組んでいきます。DLHDはM&G社の戦略的な成長ビジョンを強く支持しており、M&G社の発行済株式の約15%を取得する予定です。

この戦略的パートナーシップの枠組みに関連し、DLHD とM&G社は、DLHDの出資形態およびガバナンスに関する権利（前述のとおり、M&G社の取締役会への取締役指名権を含む）を定めた「Implementation Agreement」を締結しています。

本契約の一環として、DLHDは以下を含む一般的な契約上の制限に同意しています。

- DLHDによるM&G社株式保有比率が15%に達して以降2年間のロックアップ期間（一般的な例外を除く）
- M&G社の発行済株式総数の19.99%を超えて株式を取得しないというスタンドスティル条項（一般的な例外を除く）
- M&G社株式の売却に関する秩序ある市場形成に関する取り決め

また、DLHDは、出資に関連して一定の一般的な情報提供を受ける権利も有する予定です。DLHDは、規制当局の承認を前提として、M&G社株式の約15%を取得する予定であり、当該株式取得の実行およびリスク管理を目的として、金融機関を選定し、取得の手続きを進める予定です。

DLHDがM&G社株式を15%保有することで、所定の条件が満たされることを条件に、DLHDはM&G社の取締役1名を指名する権利を有することになります。また、それによりM&G社は日本の会計基準において、DLHDの関連会社となる見込みです。

なお、本パートナーシップの枠組みは、両社の戦略的方向性が一致しなくなった場合など一定の事由により、いずれかの当事者から終了される可能性があります。この場合、DLHDの取締役指名権および情報提供に関する権利も失効します。

菊田 徹也（DLHD 代表取締役社長グループCEO）：

保険業界及び資産運用業界においてグローバルトップティアの歴史と伝統を持つM&G社と、欧州を中心に、各成長領域で広範な提携関係を構築することになり、大変喜ばしく思っています。

「グローバルトップティアに伍する保険グループ」を目指す当社グループにとって、本パートナーシップは英国と欧州の橋頭堡と位置付けています。

M&G社は欧州随一のブランド力と伝統を有する保険事業のみならず、成長市場であるプライベート資産と伝統資産の両市場を網羅した資産運用ソリューションを提供しています。

両社のケイパビリティを持ち寄り、シナジー効果を発現させることで、長期的な価値創造とWin-Winの関係性を追求していきます。

Andrea Rossi (M&G社 グループCEO) :

DLHD社の戦略的パートナーシップおよび約15%の出資は、M&G社の強みと、リーダーシップ、戦略、そして長期的な成長可能性に対する明確な信頼の表れです。

本提携は、成長に対して共通の志を持つ、国際企業同士を結びつけ補完するものであり、素晴らしい顧客サービスと持続的な株主リターンの提供を目指すものです。

これにより、欧州全域における大きなプライベート市場の機会をさらに活かすとともに、DLHDが有する業界トップクラスの専門性を活用することで、日本およびアジア市場へのアクセスも一層拡大されることとなります。

DLHD概要

DLHDは、1902年に日本初の相互会社として設立されました。2010年に株式会社化し、東京証券取引所に上場、2016年には持株会社体制へと移行しました。2007年以降、海外展開を積極的に推進しており、今後も先進国市場と新興国市場のバランスの取れた成長を追求していきます。

現在、DLHDの総資産は67.5兆円にのぼり、安定性と収益性の両立を図る機関投資家として、社会への貢献および経済・金融市場の発展に寄与しています。特に、インフラなど成長分野における資本ニーズを支援することで、その役割を果たしています。

M&G社概要

M&G社は、世界39拠点において、約450万の個人顧客および900を超える機関投資家の資産を運用する、国際的なリーディングカンパニーです。2024年12月31日時点での運用・管理資産残高は3,459億ポンドにのぼります。

170年以上にわたる歴史を持つM&G社は、貯蓄および投資の分野における革新を牽引し続けてきました。資産運用と保険の両分野における専門性を活かし、多様なソリューションを提供しています。

英国および欧州では「M&G」および「Prudential」ブランドのもとで個人および貯蓄顧客にサービスを提供しており、資産運用の分野では「M&G Investments」ブランドのもとで、グローバルにサービスを展開しています。